

九日、再稼働を受け「関電に直ちに運転を停止するよう求める」との抗議声明を出した。

声明では「事故の放射能汚染は福井県内にとどまらない」と指摘。昨年十二月に運転差し止めの仮処分を取り消した福井地裁の異議審決定を「誰の正義に基づいたのか」と非難し「再稼働を支持しない多くの人たちとともに原発を止めていく」と決意表明した。

### 京都や滋賀の住民 行政への不信感も

原発再稼働に同意権がない近隣県には不安や不満、落胆の声が広がった。

原発立地の道県以外で唯一、即時避難が必要な五<sup>キ</sup>圈内を抱える京都府舞鶴市。台風などで細い山道が何度も寸断された松尾地区の谷義雄区長(七<sup>七</sup>)は「避難先も、地震で孤立したときの救助体制も説明を受けていない」と行政への不信感を募らせる。

京都府内の高浜原発三十<sup>キ</sup>圈内には福井県の倍以上の十二万八千人が暮らす。

だが、京都府知事や舞鶴市長には再稼働の同意権がな

い。松尾地区の僧侶松尾象空さん(五<sup>七</sup>)は「こんな近くに住んでいるのに、反対の声を届ける手段すらない」と、憤りを隠さない。

一部地域が三十<sup>キ</sup>圈内にかかる滋賀県高島市でも市民が再稼働への不安を口にす。インターネットのニュースで知った同市の主婦青谷真由美さん(四<sup>七</sup>)は「事故が起こったら、見捨てられる命があることを国は分かっているのだろうか」。

三日月大造知事は「関西電力には、より強く安全対策や、立地自治体並みの安全協定を結ぶよう訴えていきたい」と語気を強めた。

### 「運転停止求める」 裁判の会に抗議声明

関西電力高浜原発3、4号機の運転差し止めを求めて、三月に福井地裁へ提訴を予定する「福井から原発を止める裁判の会」は二十